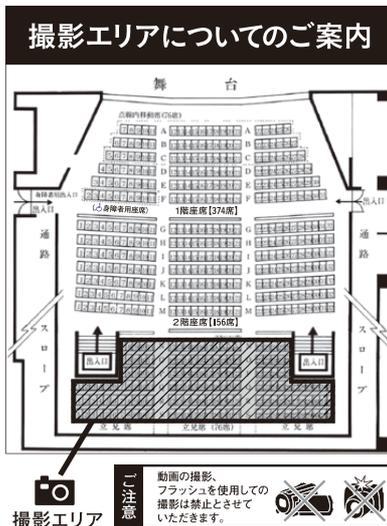


# 「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。  
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。  
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について  
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。  
※ビデオカメラ・携帯電話等での**動画撮影は禁止**します。  
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。



6月17日のタイムスケジュール

出演：今吉田神楽団 (北広島町)

19:00～開演

19:05～第一幕『葛城山』  
(おおよそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『壇乃浦』  
(おおよそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

いまよしだかくらだん

## 今吉田神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

山県郡北広島町「そばの里」で有名な豊平地区の今吉田で、戦後(昭和21年8月)若者の熱い想いで創立された、まだ若い神楽団です。当初は旧大朝町から六調子の神楽を習得していましたが、後に八調子の神楽を取り入れ、現在に至っています。

新舞が中心ではありますが、地元亀山八幡神社、各地神社の奉納神楽、施設の慰問、イベント、神楽競演大会など、一年を通じて団員一丸となって先人たちが築き上げた伝統を守りながら郷土芸能の継承と皆様に喜んでいただける神楽を舞えるよう、日々練習に励んでいます。

### 第一幕『葛城山』(かつらぎざん)

大和の国を一望する葛城山(かつらぎざん)に棲み付き、天下を攪乱(かくらん)しようとする土蜘蛛(つちぐも)の精魂が、都の守・源頼光(みなものらいこう)へ忍び寄ります。時に頼光は病に伏し、頼光の美しい侍女・胡蝶(こちょう)が典薬(てんやく)の守(かみ)から薬を持ち帰るところを、土蜘蛛の精魂は襲います。

そして、胡蝶になりすますと、頼光に毒薬を薬と偽って飲ませますが、頼光に正体を見破られ、伝家の宝刀「膝丸(ひざまる)」で一太刀浴びた土蜘蛛の精魂は葛城山へと逃げ帰ります。

頼光は、我が身を救った宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸(くもきりまる)」と改め、四天王にこの刀を授け土蜘蛛退治を命じます。四天王は、葛城山へ向かい精魂の妖術に立ち向かい、壮絶な戦いの果てに成敗するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 石川 一義	源 頼 光 … 堀田 智治	卜部季武 … 長 木 健
	小太鼓 … 井上 穂乃香	胡 蝶 … 松本 一樹	坂田金時 … 吉田 和雄
	手打鉦 … 中村 広		土蜘蛛の精魂 … 木村 隆之
	笛 … 長 木 恵		

### 第二幕『壇乃浦』(だんのうら)

源義経(みなものよしつね)は壇ノ浦に平氏を追いつめ滅ぼします。

この時、平氏の猛将、能登守・平教経(たいらののりつね)及び平知盛(たいらのとももり)は水死し、知盛の靈魂は成仏せず亡霊となります。義経は兄・頼朝(よりあさ)と不和となり、都をのがれ、武蔵坊弁慶(むさしぼうべんけい)と妻・静御前(しずかごぜん)を伴い東国に向かいます。

途中、海路・大物浦(※だいもつのうら)で知盛の亡霊が出現し一行を悩ませますが、弁慶の法刀によってこれを退散させ、義経、弁慶は静御前と別れて東国に向かうという物語です。

(※)大物浦(だいもつのうら)=兵庫県尼崎市大物町にあった、淀川の旧河口の港。源義経が屋島攻めに船出した地。

【出演】	大太鼓 … 石川 一義	源 義 経 … 堀田 智治	能度守教経 … 井上 節
	小太鼓 … 井上 穂乃香	武蔵坊弁慶 … 長 木 健	静 御 前 … 松本 一樹
	手打鉦 … 中村 広	平 知 盛 … 吉田 和雄	亡 靈 … 木村 隆之
	笛 … 長 木 恵		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。